2013 年 4 月 12 日

鳥取市長　　竹内　功　様

会派「結」　会長　上田　孝春
共産党市議団団長　角谷　敏男
無　所　属　　太田　縁

専門家委員会による市民への意識調査についての要請書

市民生活向上のための市政運営へのご尽力に対し、敬意を表します。

さて、7 日に開催された市庁舎整備専門家委員会では、市庁舎整備についての意識調査の内容が議論され、今月中に意識調査をおこなうことが確認されました。提案された意識調査のお願い文には「市庁舎整備のあり方を考えるうえで、市民の意識は重要なデータであると考え、このたび意識調査を実施することにしました」と書かれています。しかし、市民の意思は昨年５月の住民投票ですでに示されています。あらためて市民の意識を調べる必要はありません。ましてや、回答の選択肢にそれ以外の項目（新築移転など）を入れることは住民投票を無視するものであります。

また、専門家委員会はこの意識調査を「中立的な立場」で実施するものだとしていますが、住民投票のことに触れないことが「中立的な立場」であるということは筋が通らない話です。

いま、行政としてやるべきことは、市民がさまざまな思いと判断で新築移転反対を示し、耐震改修を基本とする整備を選択した住民投票の結果に基づき、現在地での耐震改修案づくりの調査・検討を進めていくことです。

つきましては、専門家委員会による市庁舎整備についての意識調査を実施しないことを強く要請いたします。

以　上